

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和4年度第1回佐渡市公の施設指定管理者評価委員会
開催日時	令和4年6月21日(火) 13:15~16:00
場所	佐渡市役所 3階 大会議室
議題(会議内容)	<p>1 開会</p> <p>2 評価及び採点方式など全体説明</p> <p>3 議題(評価)</p> <p>(1) 佐渡市ケーブルテレビ放送施設</p> <p>(2) 海洋深層水分水施設</p> <p>4 結果報告</p> <p>5 閉会</p>
会議の公開・非公開	公開
出席者	<p>《佐渡市公の施設指定管理者評価委員》(5名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長 小池雄一郎 ・副委員長 山口博司 ・委員 石川聡、山形ひろ子、堀口一男 <p>《指定管理施設運営者》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市ケーブルテレビ放送施設 株式会社佐渡テレビジョン 代表取締役 高野宏介 企画部長 渡邊裕次 取締役統括部長 武部健一 技術部長 逸見浩幸 制作部長 林 隆行 営業部係長 佐藤一佳 ・海洋深層水分水施設 新潟県佐渡海洋深層水株式会社 営業部長 土田 一彦 <p>《事務局》</p> <p>総務課 管財係係長 秋場和久 同係主任 長尾啓介</p> <p>《施設所管課》</p> <p>総務課 課長 甲斐由紀夫、情報管理係長 海老名係長 産業振興課 補佐 畠山和義、産業振興係 親松主事</p>
傍聴人の数	0人

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>互選により、委員長は小池雄一郎委員に、副委員長は山口博司委員に決定</p> <p>事務局から評価採点方法等の説明の後、佐渡市ケーブルテレビの説明、委員からの質疑、採点、回収、その後、海洋深層水分水施設の説明、委員からの質疑、採点、回収、を行った。</p> <p>小池委員長進行</p> <p><佐渡市ケーブルテレビ放送施設></p> <p>指定管理者の株式会社佐渡テレビジョンから、会社概要の説明、評価シート及び評価資料の説明を行い、その後に質疑に入った。</p>
小池委員長	<p>世帯数からすると何十年もやっている割に、加入率が低いのかなと思います。新規加入に向けた様々な取り組みをされていますが、今後も離島甲子園などの大きなイベントとの抱き合わせで取り組んでみてはどうかと思います。</p> <p>また、ケーブルテレビの CM で新規加入の募集をしているが、ケーブルテレビの CM は加入している方が見れるものなので未加入者への PR としては効果に疑問があります。</p>
山形委員	<p>私は両津の東のほうに住んでいますが、佐渡テレビに入っている方が少ない。もっと多くの方に佐渡テレビに入って情報を共有して欲しいと思っています。</p>
山口委員	<p>地デジになって難視聴対応という点から加入動向に変化はあるのでしょうか。</p>
佐渡テレビジョン	<p>ケーブルテレビの加入ということでは、佐渡市合併前は佐渡テレビジョンのみでしたが、難視聴地域の方に対してはケーブルテレビの強みが発揮されたと思います。</p> <p>昔の農協の有線放送やオフトークが老朽化しているタイミングでケーブルテレビに切り替えて加入するという背景もありました。</p> <p>人口の密集地でしか民間は経営が成り立たないため、佐渡テレビジョンの放送エリアは限られていました。そのため、エリアによる情報格差を埋めるため佐渡市がケーブルテレビ事業者となり、島内全域をエリアとして CNS テレビが始まりました。</p> <p>佐渡テレビジョンとエリアは重複していませんが、お住まいの地域によって情報の差がないように、相互に共有しながら同じ番組を提供しています。また、市のテレビなので行政情報を中心に伝えています。</p>

佐渡テレビジョン	<p>佐渡の離島という特性上、これ以上のエリア拡大ができません。新規住宅も少ないので件数が伸びない悩みがありますが、良い番組を見ていただけるよう、営業活動のほか、図書館への番組DVDの設置などを行っています。テレビ以外の媒体が充実することによりテレビから離れる方もいますが、地域密着で加入者を増やしていきたいと考えています。</p> <p>佐渡テレビジョンしか無かった当時は、テレビへの加入が2,000件に達していない状況でしたが、現在は5,000件に増えています。</p> <p>佐渡市のケーブルテレビは旧羽茂町で始まりました。羽茂は難視聴エリアが多かったため加入率はほぼ100%でした。</p> <p>その後にエリアを拡大した佐和田、真野、小木、赤泊の4ヶ町村では50%以上の加入がありました。</p> <p>平成18年に全島にエリアを広げた際には、地デジ化の課題もありますが、難視聴エリアでは共聴組合の維持管理に困っていたことがあり、これをケーブルテレビに取り込むことができました。</p> <p>ケーブルテレビ業界で加入率50%を超えているのは、長野県の一部の自治体ケーブルテレビなどで100%になっているところを除けば非常に高い水準です。</p> <p><審査集計結果 平均点 65点 ランク B></p> <p><海洋深層水分水施設></p> <p>指定管理者の新潟県佐渡海洋深層水株式会社から、会社概要の説明、評価シート及び評価資料の説明を行い、その後に質疑に入った。</p> <p>小池委員長 実際の収支は黒字か、赤字か。</p> <p>佐渡海洋深層水 令和2年度若干の黒字、3年度若干の赤字、合計で若干赤字です。</p> <p>石川委員 稼働日数が多いですが、人員が4名と少ない。集中的な繁忙期があるが残業はないということですが、対応できているのか。シフトに苦労しているのではないのか。変形労働時間制のものはいるか。</p> <p>佐渡海洋深層水 繁忙期には、同会社工場の社員のヘルプ体制をとり、対応しており、営業時間が9時から16時30分の為、前後入れても残業は殆どありません。変形労働時間制はありません。</p>
----------	---

石川委員	年間雇用のパートタイムはいるのか。
佐渡海洋深層水	常勤のものはいます。
石川委員	有給休暇の付与はあるか。
佐渡海洋深層水	付与しています。
石川委員	個人情報保護の関係でネットに繋がらない形で情報管理しているパソコンがあるということですが、パソコン自体の管理はどうしているか。
佐渡海洋深層水	デスクトップのパソコンで、室に鍵を閉めて管理しています。 パソコンはパスワード管理し、社員のみが使用しております。
石川委員	マイナンバーの取得情報の管理はどのようにしているか。
佐渡海洋深層水	マイナンバーの取得はありません。
原口委員	見学者の受け入れにより、地元の皆さんの理解に繋がりサービスの向上につながると思う。継続的にされていると思うが、見学者の受け入れの忙しい時期はいつか。
佐渡海洋深層水	春から秋が多いです。学校関係の職場体験などは夏から秋口です。
原口委員	トラックで配送するのはどのような場所か。
佐渡海洋深層水	毎週火曜、金曜は各事業者に3 tの原水を配送している。 塩を作っている工場に濃縮水を6～9 tを配送している。 水津と入桑でナマコの畜養試験をしているのでそこに原水を配送している。 7月の終わりには田圃の農業用水として原水を12 t配送している。
小池委員	公休日はどうなっているか。
佐渡海洋深層水	施設定休日（毎週月曜日、年末年始6日間）を公休日とし、それ以外は会社規定の公休数（毎週土日、お盆3日間）を分水施設の営業状況を考慮し、交替で公休を取っています。
<p><審査集計結果 平均点 56 点 ランク C></p>	